

質問及び回答

回答日	該当資料	頁番号	質問内容	回答
11/12	仕様書	1	第6 業務に要する費用（事業費限度額）に記載されている令和7年度末までの5年間のランニングコストについても提案することという表記に関し、必ず5年間は利用いただけるという認識でよろしいでしょうか。	令和3年度～7年度までの5年間について、運用、保守等にかかる業務も本件の受託者と随意契約する予定です。 ただし、各年度の予算が市議会での議決を経ることが契約締結の条件となります。
11/12	仕様書	2	用語について、以下の認識でお間違いないかご教示ください。 ① 回答率 利用者の質問に対してチャットボットが提示した回答候補のうち、いずれかの回答候補が選択される割合 ② 正答率 利用者が選択した回答候補が正しく回答で来ている割合（「この回答は役に立ちましたか？」に対し「はい」が回答される割合）	①回答率=1-回答できなかったもの/全回答 ②正答率=1-(回答できなかったもの+回答したが”回答が違う”と言われたもの)/全回答
11/11	仕様書 11月5日 付回答	3	第9 本サービスの基本事項(5)サービス機能(エ) 「深層学習を活用」について確認です。 貴市から出された11月5日の回答には「深層学習機能の搭載は必須」とありますが、貴市が求める深層学習とは具体的にはどのような機能を指しているのでしょうか。 ニューラルネットワークが自律的に概念を抽出するような学術的な意味において用いられる狭義の技術を指しているのでしょうか。 それとも(カ)に記載のある、「回答候補は、キーワード検索で抽出できる ものではなく、関連性の高い質問文を表示すること(例:「引っ越しする」との質問の場合、「転入する」「転出する」「市内転居する」のいずれかを確認する選択表示を出すことを想定)」とあるように意図理解が行われ、その状態を簡便に維持向上できる仕組	後者(意図理解が行われ、その状態を簡便に維持向上できる仕組みが AI の技術によって実現している)の理解で問題ありません。

			みがAIの技術によって実現しているというご提案であれば問題ないと理解してよいでしょうか。	
11/9	実施要項	3	8留意事項 (4) (5) 用紙は縦・横いずれの使い方でよいか。	縦・横どちらでも結構です。
11/9	仕様書	2 3	提案におけるQAデータのA(回答)部分についても提案者が用意すること前提としているか。	標準 QA の回答部分は提案者が用意するものとします。
11/9	仕様書	3	第9本サービスの基本事項(1)対処業務について全課を対象とする前提での問い合わせの多いものという意味なのか、それともその前提はなく問い合わせの多いものを選定するという考え方でよいのか。後者の場合、全課を網羅しない一覧となることも結果として考えられるが問題ないか。	問い合わせの多いものを対象とします(後者)。全課を網羅しない一覧で問題ありません。
11/9	実施要項 質問と回答一覧	2 2	質問に対する回答から提案時に「標準QAデータ」の提出を求めていると理解したが、実施要項には提出物としてそのデータの提出が記載されていない。また提案書の枚数は10枚と定められており提案書に含めることは想定されていないように解釈しています。この「標準QAデータ」はどのような方法で提出すればよいでしょうか。印刷したものを提示するという解釈でよいでしょうか。それとも、Excel等の汎用的なファイル形式という指定仕様書に記載があるためどのような方法で提案時に提出すればよいでしょうか。電子データでの提出の場合媒体の指定はありますか。	標準 QA データは提案書には含めず、Excel 形式でメールにてご提出ください。
11/9	仕様書	3	(4) サービス利用準備 (ウ) に記載のある「独自QAデータ」の提出については (イ) にある「標準QAデータ」のように「提案時」という記載がなく、文脈上 (ア) に記載のある契約締結後の行為として理解しているが相違ないか。「独自QAデータ」はプロポーザルの趣旨として貴市にとって有効なアイデアを求めるものと理解しているため提案書に記載する「(イ) 独自QAデータ」においては	独自 QA データは契約締結後となります。 独自 QA データに関してのご提案は、そのようにしていただいで問題ありません。

			どのようなコンテンツを実装しその効果について論じることを予定しているがその理解で問題ないか。	
11/6	仕様書	3	政府等のクラウドサービス対応セキュリティ基準とは具体的にどのような基準となるか参考資料を頂けないでしょうか。	「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」で推奨されている、「ISO/IEC 27017 による認証取得」、「JASA クラウドセキュリティ推進協議会 CS ゴールドマーク」、「米国 FedRAMP」のいずれかの認証を取得していることを指します。
11/5	実施要項	3	8 留意事項等 (5) 「表紙、提案書内に社名を一切記載しないで提出すること。」と記載がございますが、正本・副本いずれも社名伏せにて提出という認識でよろしいでしょうか。 また、伏せるのは社名のみで商品名等の記載は問題ないという認識でよろしいでしょうか。	正本・副本いずれも社名を伏せて提出してください。 商品名の記載は問題ありません。
11/5	実施要項	3	9 質問等の受付(3) 「回答は質問者には個別に文書あるいはメールにより通知するほか、市ホームページ上にも掲載する。」と記載がございますが令和2年11月11日(水)までに質問があった内容を取りまとめ回答されるという認識でよろしいでしょうか。その場合、最終回答日はいつになりますか。	取りまとめた回答ではなく、その都度回答します。 ホームページへもその都度、最新の質問及び回答を掲載します。
11/5	実施要項	3	10 審査方法及び評価項目(1) 審査員構成について、ご教示ください。	審査員の構成は、非公表とします。
11/5	仕様書	2	バージョンアップとは具体的にどのようなことを想定されていますでしょうか。	LINE 連携(LINE のトーク画面で使えること)を想定しています。
11/5	仕様書	3	フローティング表示するキャラクタデータは貴市からご提供いただけますでしょうか。	当市から提供いたします。
11/5	仕様書	3	AIチャットボットシステムに深層学習機能が搭載されていない場合、受託者がログデータ等から手動でAIに学習させる手法でも問題ないでしょうか。	深層学習機能の搭載は必須です。

11/5	仕様書	3	貴市ホームページへのチャットボットの組み込み作業は貴市で行われる認識でよろしいでしょうか。	当市が行います(正確には当市ホームページの管理事業者が行います)。
11/5	仕様書	8	標準QAは、事業者からの提供、独自QAは貴市からの提供と認識しておりますが、問題ございませんでしょうか。 標準QAデータと独自QAデータの定義をご教示ください。	標準 QA データ:事業者から提供される、他自治体でも共通して質問されるような QA のデータ。 独自 QA データ:標準 QA に該当しないもの。
11/5	仕様書	6	運用、保守等にかかる業務は受託者と随意契約する予定とありますが、5年間のランニングコストについては提案した金額は確定もしくは提案した金額を上限として契約でしょうか。 要件等が変更になった場合は提案した金額は上限なく、変更になりますでしょうか。	提案金額が上限となります。現在の仕様書をカバーするよう、オプションも含めた5年間のランニングコストを1年単位で算出してください。 要件の変更がある場合でも、提案金額の範囲内での変更とします。
11/5	仕様書	3	第9(4)(イ)の標準QAデータを提案時に提出が必要とありますが、チャットボット構築時ではなく提案時に必要な意図は何でしょうか。 QAデータ内容も評価対象になるからですか。	標準 QA データの量及び質は、導入時の当市の事務負担軽減に直結するため、重要視しています。 提案時に QA データの内容が実用性の高いものであるかを評価します。
11/5	仕様書	3	標準QAデータを提案時ではなく、選定結果後の構築時に提出する形は受け入れ可能でしょうか。現時点で標準QAデータがなく、企画提案審査の書類提出期限に間に合わないため確認になります。	上記の理由から、標準 QA の提供は必須です。
11/5	仕様書	1	事業限度額3,740,000円とあるが、この費用は初期構築費のみであるか、またはR2年度契約時点～R2年度3月31日までの初期構築費用+運用保守費用の上限額であるかご教授お願いいたします。	事業限度額は初期構築費です。 ただし、R2年度中に行う試験運用に係る費用があれば、それも初期構築費の一部として費用を算出してください。
11/5	仕様書	1	アンケート機能について、どのようなものを想定しているかお伺い出来ればと存じます。アンケート機能はチャットボット内で完結することが望ましいのか、またはアンケートサイトの提供も必須であるのか等。ご教授お願いいたします。	基本的にはチャットボット内で完結するものを想定しています。 アンケートサイトは、当市の求めに応じて提供できる体制であることが必要です。